

平成 28 年度

グループホーム 亀天福寿苑

事業報告書

(1) 基本方針

「一緒に」 「共に」 を大切にし、私たちは支援します。

(運営方針)

- ① ご利用者一人一人が「その人らしく」生活が送れるように支援します。
- ② ご家族と積極的に交流し、「安心」を提供します。
- ③ 地域の方との交流を行い、より良い関係作りを行います。
- ④ 職員の質の向上に向かい、内部・外部研修に積極的に参加します。

(重点目標)

- ① ご利用者一人一人の生活歴を踏まえ、暮らしの中で心身の力が発揮出来る様心がけました。

計画作成者や利用者担当を決め、ご家族やご利用者に希望を聞きながら、しっかりとご利用者の状況把握を行うようにしました。また、計画作成者が介護計画を立てた後、サービス担当者会議を行い、ユニットでの支援の方向性を話し合い、適切な支援を行うよう努めました。また、ご利用者の希望があればご家族に相談し、ご利用者の意向に添っての支援も行っています。

ご利用者に対するサービスもアセスメントを行い、ユニットで話し合い、個別に対応しました。食事では、むせこみがないか等見守りを行い、むせこみ等がみられたら食事形態を変えたりと直ちに対処しました。常に職員同士で話し合い、状態が変われば、対応もすぐに変えて対応を行っています。

日々の生活では、台拭きや洗濯物たたみ、洗濯干し・箒を使ってやモップ掛け等フロアの掃除を一緒に行いました。ラジオ体操や歩行訓練を毎日行い、個別でのレクリエーションも行いました。また、過剰介護にならないように見極めを行いました。今年度は季節に合わせて七夕・ご家族も一緒に参加された夏祭り・敬老会・ドライブ・クリスマス会を行い、生活やレクリエーションを通じて体を動かして頂くようにしました。

- ② ご家族より「福寿苑に入所して良かった」と思って頂けるように心がけました。

職員が明るく挨拶ができるようになっていますが、どのように話をしているか悩んでいる職員もいました。疑問や日々の様子をご家族に伝えられている職員もいますが、挨拶のみや話をすることを苦手としている職員がいる状況でした。

少しずつコミュニケーションを取れるよう積極的に話してもらう機会を設けました。面会時だけでなく、ご家族に連絡をする際は用件と日々の様子も一緒に伝える職員も少しずつ増えて来ました。

趣味の会を行う事で、参加されているご家族同士が自然と会話ができるよ

うになってきました。行事にもご家族に参加を呼び掛け続けていきます。

③ 運営推進会議・趣味の会、挨拶を通じて交流を深めました。

道で散歩している方々にも挨拶する職員が増えていますが、全員ではない状況でした。

運営推進会議・趣味の会の参加者人数ですが、1年間の合計で151名でした。初めて行った文化祭の参加者が一番多く、参加者人数を増やす事ができました。

高部地区防災連絡会議では、10月と2月に参加しました。3月12日には、高部地区防災関係の方々が福寿苑のトイレの手すりを見に来られました。今後も、引き続き一緒に防災を考えていきます。

④ 認知症の方への対応を考えながらの内部・外部研修の参加を行いました。

参加していない職員にも分かるように、職員会議事録で質疑応答や担当者が質問し、答えた内容を載せるようにしました。

内部研修担当者が資料をそのまま使うのではなく、自分でまとめた文章を作成し、他の職員に伝える様にしました。また、一方的な講義ではなく、質問形式にして皆が考えるように心がけました。

内部研修の後、その月目標を伝え共有し、1か月取り組みました。また、目標の中から自分自身が1か月どう取り組むかの目標を立て、1か月後、振り返りをしました。防災や感染症に関しては、振り返りの問題を作成し再度勉強を行いました。また、2ヶ月に1度今治市グループホーム交流会が行われている勉強会にも参加し、研修後には発表を行うように知識・技術の向上に努めました。

(2) 利用者に対するサービス

● 食事

ご利用者の状態に合わせ、普通食から刻み食・トロミ剤使用し安心してお食事がとれるようにしています。また、温かいお食事が提供できるよう、直前の盛り付けや見た目を楽しめるような盛り付けを行いました。中庭で採れた野菜・果物、散歩時に採れた土筆やご利用者と一緒に漬けた梅干し等を一緒に提供し、会話を楽しみながらお食事をして頂きました。また、必要以上の食事介助は控え、ゆっくりと食事が出来る雰囲気作りを心がけています。

● 入浴

1人ずつゆっくりとした入浴を行っております。仲の良いご利用者同士では、ご利用者から一緒に入りたと言われる時は希望に合わせて2人で入浴を楽しんで頂いています。入浴時には、職員とご利用者が会話を行う事で日頃フロアではお話しされない事もお話しして下さいます。また、ご利用者の身体状態に応じて、普通浴・特殊浴、シャワーチェアの使用・清拭、足浴の実施をしています。脱衣場・浴室の温度やプライバシーに気をつけて介助を行っております。入浴時には、皮膚の状態観察を行い、異常

があればすぐに看護師に連絡をとり対応を行っています。

- 排泄の介助

排泄チェック表に基づき、トイレへの声掛けや誘導を行う事でトイレでの排泄をして頂くように取り組んでいます。プライバシー保護の為、皆様の前で排泄の確認をしない等声掛けの仕方にも気をつけています。汚染があった場合は、状況に応じて清拭やシャワー浴、入浴を行っています。排便コントロールも排泄チェック表に基づき、看護師と連携をとり下剤の服用や水分摂取、体を動かす等で調整を行っています。環境面についても、壁・便座・床等の掃除を毎日や汚染時には行い、清潔が保てるように行っています。

- 健康管理

毎日のバイタル測定・食事摂取量、体調の変化の有無などを把握し、異常の早期発見に努めました。健康状態に異常がある時は、看護師と連携し、看護師の指示のもと、再検、必要時には早期受診による体調悪化予防や治療できるように行いました。また、医療機関と連携し、職員・ご利用者共に定期的な健康診断や予防接種を受けました。季節に留意した温度・湿度の調整や毎日の換気、水分補給を行い健康管理に気をつけました。

- 機能訓練

レクリエーションとして、午前中には体を動かすレクリエーションを取り入れました。毎日のラジオ体操やタオル体操、歩行訓練などを行い、体操後には風船バレーやボーリングなど体力作りに取り組むことが出来ました。昼食前には、口腔体操も取り入れています。午後からは、カルタやトランプ、計算問題、ことわざクイズなど脳トレーニングを行ったり、指先を動かすように創作活動として季節の壁画作りや行事で使う創作物の作成に取り組みました。また、ご利用者に合わせて階段運動を取り入れています。日々の生活の中で、箒を使って掃除をして頂いたり、台拭き、洗濯物畳み等自然に身体を動かして頂いています。また、手を出しすぎない介助を行う事で残存機能を使って頂いています。

- 行事

ご利用者には四季を感じて頂けるように、季節に合わせた行事を行いました。お花見ドライブや夏祭り、敬老会、クリスマス会等ご家族と一緒に楽しんで頂ける行事も行いました。大勢が参加される事でより賑やかな行事になりました。餅つき大会やおはぎ作り、焼き芋を行いご利用者から教えていただく行事も取り入れました。各ユニットでは、お誕生日会やおやつ作り、塗り絵大会を毎月行いました。気候が良い日は戸外食も行っています。お誕生日会では、ご家族に協力してもらい、誕生日プレゼントを用意して頂いています。ご家族からのプレゼントにご利用者も感激されています。ご利用者の笑顔が多く見られ、季節を感じて頂く事のできる行事を今後も取り入れていきます。

- ボランティアの受け入れ、地域交流

毎月趣味の会では、バッグ作り、イオンでのお食事会、おやつ作り、文化祭を行いました。外部から講師を招き、バッグ作りを行いました。ご家族や民生委員、地区の方も参加されています。趣味の会へ参加される方が顔見知りとなり会話が弾んできています。また、毎月ボランティアの方によるコーラス会を行っています。電子ピアノで演奏しながらご利用者と一緒に懐かしい歌を唄われています。今後も地域交流が行えるように努めて参ります。

- 防災・防火対策

年に2回、4月と10月に苑内での防災訓練を実施しています。南海地震を想定したり、立地場所から土砂災害への対応の訓練も行いました。防火訓練時には、水消火器を使用しての消火訓練や防災設備の講習を行っています。また、防災の知識を高めるために防災についての勉強会を行っています。高部地区における防災会議にも毎回出席させて頂いています。今後も南海地震を視野に入れ、より力を入れて取り組みたいと思います。

- 職員研修

外部研修、内部研修の参加により、知識・技術の習得に努めました。年間スケジュールに沿って毎月内部研修を行いました。講師にあたる職員が勉強を行い、発表を行いました。季節に合わせて、感染症に関する事について勉強会を行う事で、早期に情報を職員全員で共有することが出来ました。今後も知識・技術の習得を行い、ご利用者により良い支援を行うよう努めていきます。

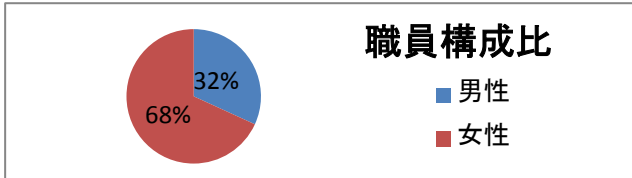


1. 事業所

① 概要

事業所名	グループホーム 亀天福寿苑		
事業所種別	(介護予防)認知症対応型共同生活介護		
事業所住所	今治市高部字碁石山甲661番地1		
管理者職名	管理者 藤原 裕子		
職員数	男性	女性	総数
	7	15	22

(平成29年3月31日現在)



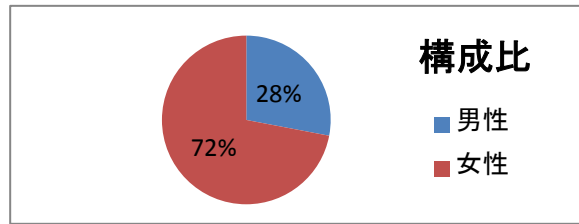
②職員紹介



☆ 職員紹介 ☆ ☆ ユニットの思い ☆	1階 たんぽぽ	たんぽぽは、女性職員5名、男性職員2名です。介護歴25年、介護歴15年や看護師歴15年と長く福祉業界に携わっている職員が多いユニットです。若手職員と共に和気あいあいとご利用者の支援を行っています。また、ご利用者と一緒に笑ったり、泣いたり、時には怒ったりと様々な表情や感情を大切にしています。これからも、明るく元気でユニークなユニットであり続け、ご利用者とご家族に満足して頂ける支援を目指します。
	2階 こすもす	こすもすは、幅広い年齢層の職員がそれぞれの特技や個性を活かし、アットホームな介護に努めています。レクリエーションでは、多くのご利用者に興味を抱いて頂けるように支援しています。一緒におはぎを作ったり、ジャガイモを植えてみたり、昔の遊びをしてみたり、時には流行のハロウインの姿を一緒にしたりと様々なアイデアを出し合いながら毎日を過ごして頂いています。これからも、職員の特技を活かした支援を目指します。
	3階 ひまわり	ひまわりは、20歳代～60年代と幅広い年齢層で毎日、ご利用者の支援をしています。ご利用者の体調変化に早く気づき、対応をするように心がけています。毎日のレクリエーションでは、塗り絵大会に向けて塗り絵をして頂いたり、歩行訓練・ラジオ体操を行っています。ご利用者に寄り添った介護を目指して、明るい環境作りにも力を入れています。これからも、笑いが止まらない活発なユニットであり続ける様支援してしていきます。

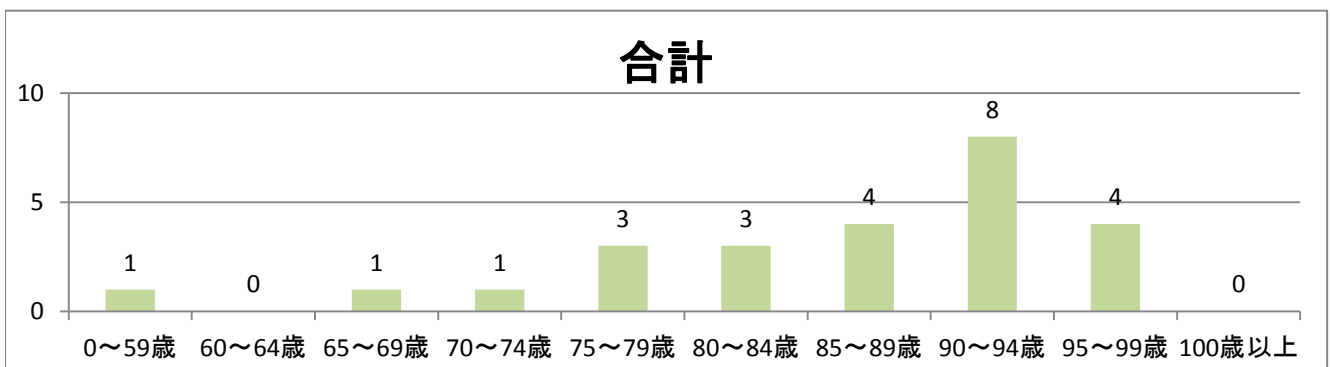
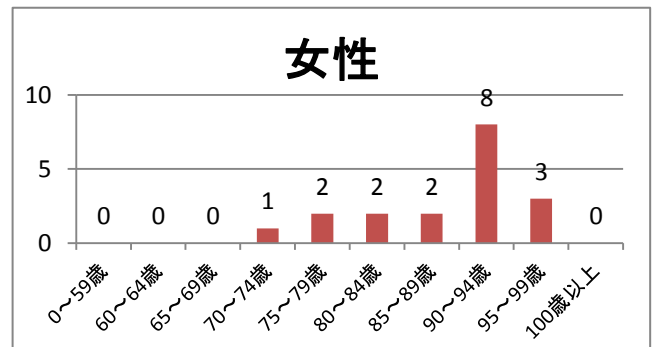
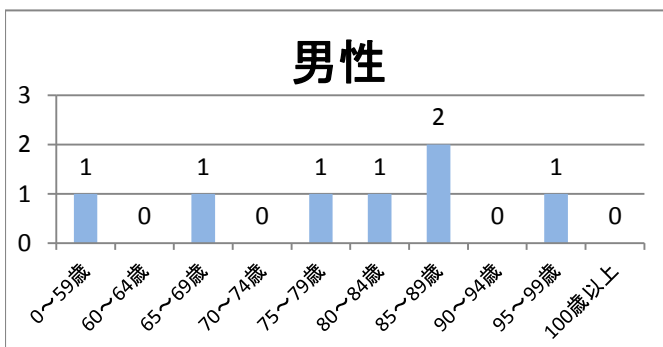
2. 定員及び現在人員(平成29年3月31日現在)

定員(名)	現在人員(名)	性別	
		男性	女性
27	27	7	18



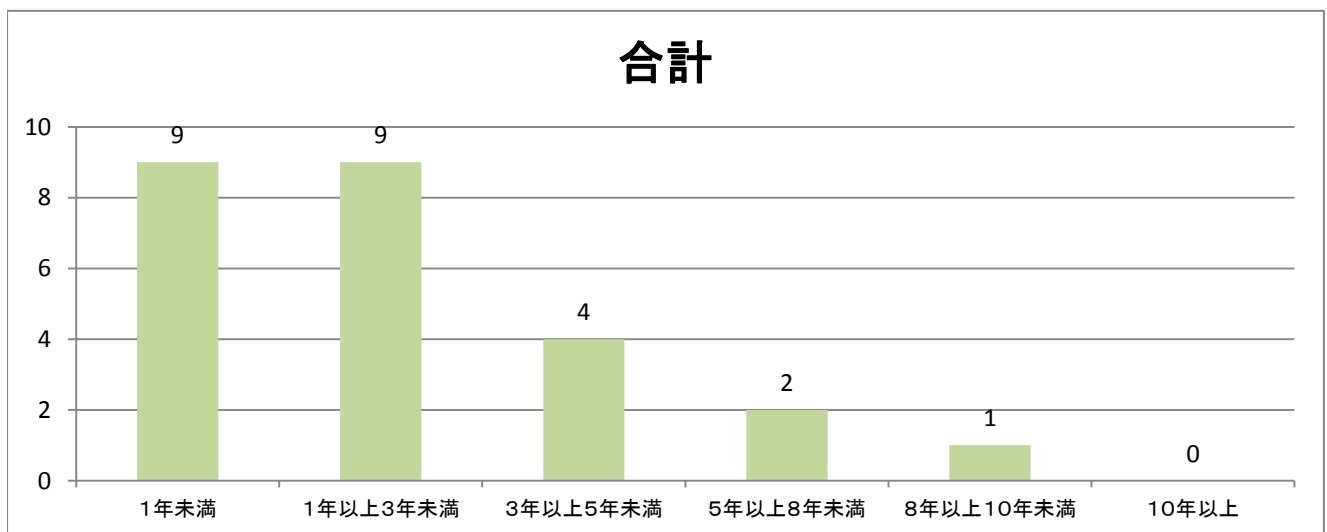
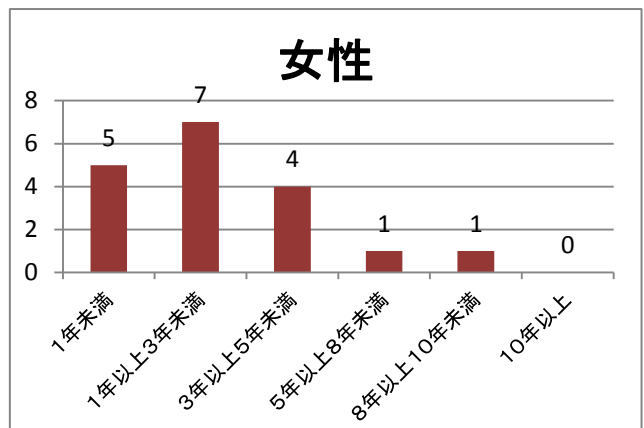
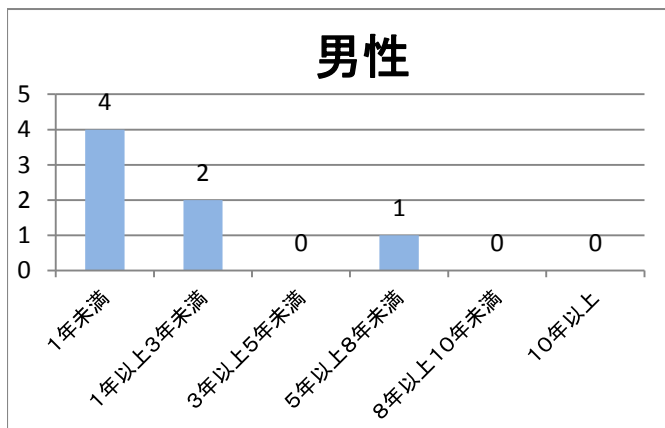
3. 年齢別人員

	男性(名)	女性(名)	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	1	0	1	4.00%
60～64歳	0	0	0	0%
65～69歳	1	0	1	4.00%
70～74歳	0	1	1	4.00%
75～79歳	1	2	3	12.00%
80～84歳	1	2	3	12.00%
85～89歳	2	2	4	16.00%
90～94歳	0	8	8	32.00%
95～99歳	1	3	4	16.00%
100歳以上	0	0	0	0%
合計	7	18	25	100%
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	95	59	78.9	85.4
女性	96	74	87.9	



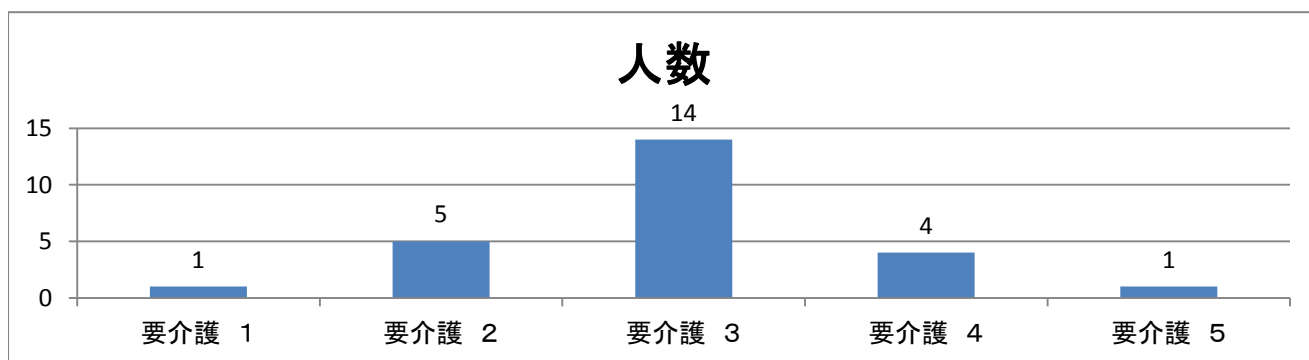
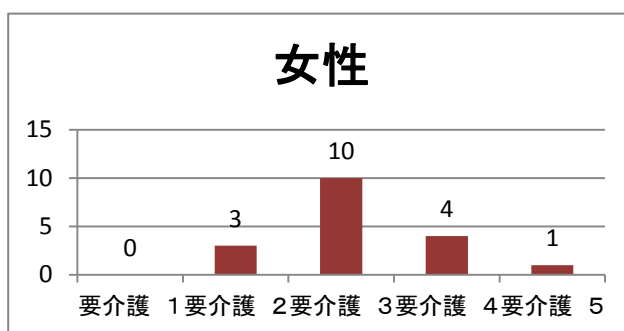
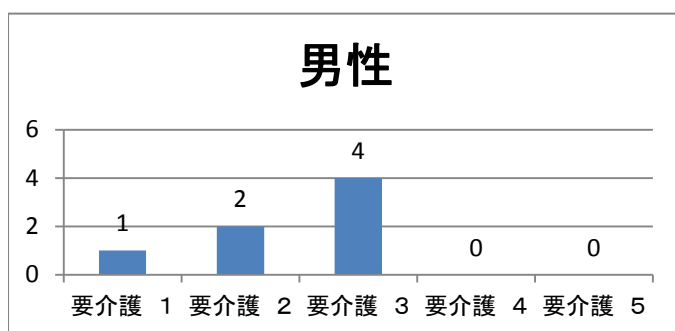
4. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	4	5	9	36.00%
1年以上3年未満	2	7	9	36.00%
3年以上5年未満	0	4	4	16.00%
5年以上8年未満	1	1	2	8.00%
8年以上10年未満	0	1	1	4.00%
10年以上	0	0	0	0%
合計	7	18	25	100%
平均入居期間	1年5か月	2年8か月	全体	2年4か月



5. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要介護 1	1	0	1	4.00%
要介護 2	2	3	5	20.00%
要介護 3	4	10	14	56.00%
要介護 4	0	4	4	16.00%
要介護 5	0	1	1	4.00%
合計	7	18	25	100%
平均介護度	2.4	3.2	3	



6. 面会状況(平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日迄の1年間)

総数	544人
1か月平均	46.17人
最高(1人あたり)	69回
最低(1人あたり)	1回
年間1人平均	22.16人
1か月1人平均	1.84人

7. 研修実施状況

【内部研修】

実施月	研修内容	研修講師	出席者数(名)
4月	グループホームに求められている事や福寿苑の理念を理解し、認知症の方への支援方法を考える	藤原裕子	12
5月	担当利用者の考えられるリスクを減らすための方法を実践する	小西応樹	14
6月	正しい調理方法と食品保管で食中毒を予防する	今井志保美	13
7月	利用者様や家族様が安心のできる対応や言葉がけを行う	村瀬 りえ	13
8月	レクリエーションの効果や必要性を学び、実践できるようになる	松岡祥子	13
9月	嗜好調査を行い、利用者が全量摂取できるよう介助方法を身に着ける	矢野夏希	13
10月	利用者様の認知症を理解し、ホッと出来る声掛けをしていく	村上 美幸	13
11月	災害別にいつどこにどのようにして避難するかの判断力を養う	小西応樹	13
12月	利用者様が感染した場合、対応できる知識を身につける	上田重人	13
1月	夜間緊急時の対応を理解し、対応できる。日頃の状態把握に努め異変時の早期発見ができる。	谷口 康	11
2月	虐待・身体拘束について理解を深め、自分自身の介護方法を見直し不適切なケアをなくす	門田 島子	14
3月	入居者の方が安全、安楽、安心して行える介助の基本を習得し、その人に合わせた支援ができる	渡部 照子	11

【外部研修】

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
5月	講義	グループホームサービス評価説明会	管理者
6月	講義	災害対策、防災の心得	計画作成担当者
8月	講義	救命講習～心肺蘇生・AED～	管理者
8月	講義	ケアプランについて	介護員
10月	講義	地域密着型サービス事業所認知症ケア研修会	管理者
10月	講義・グループワーク	認知症の症状別理解と対応～中核症状とBPSD～	介護員
12月	講義	甲種防火管理新規講習	介護員
12月	講義	会計について	管理者
12月	講義	水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会	管理者
12月	講義・グループワーク	グループホームにおける接遇・マナーとリスクマネジメント	介護員
2月	講義	社会福祉法人における予算管理と会計管理	管理者
2月	講義・グループワーク	グループホームにおけるレクリエーション	計画作成担当者
3月	講義・実技	今日から始めるお口のリハビリ	介護員



8. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

【行事・クラブ活動】

実施月	指導援助者	内容	参加者数(名)
4月	村上・門田	お花見(戸外食、外気浴)	27
5月	仲渡・小西	こいのぼり集会	9
6月	村上・永市	おやつ作り(チョコレートフォンデュ)	27
7月	村上・矢野・渡辺	七夕会	27
8月	村上・矢野・渡辺	夏祭り	49
9月	村上・矢野・渡辺	敬老会	48
10月	村上・村瀬	運動会	28
10月	小西	舞踊・コーラス会	25
11月	村上・永市	文化祭	30
11月	村瀬・永市	紅葉ドライブ	10
12月	村上・渡辺	クリスマス会	48
1月	村上・永市	初詣	14
1月	渡辺・村瀬	鏡開き	26
2月	渡辺・永市	節分	27
2月	渡辺・永市	バレンタインデー	27
3月	渡部・仲渡	おはぎ作り	23

【地域交流・ボランティア受入れ状況】

実施月	団体名	内容	参加者数(名)
4月	伊藤君代	ペーパークラフトかご作り 第1回	5
4月	高部地区 防災連絡会	防災について(一時避難場所や錠備品)	1
5月	伊藤君代	ペーパークラフトかご作り 第2回	5
6月	第一興商	音楽を使ったレクリエーション	11
7月	渡部照子	皆で作る おやつ作り	16
8月	村上美幸	夏祭り	49(内26利用者)
9月	矢野夏希	敬老会	48(内27利用者)
10月	なでしこ会	舞踊(8名)・コーラス会	34(内25利用者)
10月	北郷中学生	職場体験・運動会	3
11月	永市敦美	文化祭	30
12月	村上美幸	クリスマス会	48(内26利用者)
2月	渡部照子	ネクタイでコサージュ作り(バラ)	5
月1回 第3木曜日	ボランティア	コーラス会	1~13

9. 苦情状況

【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
平成28年度		特になし



